

「石垣焼」を出展

フランスのマニユエル・バルス首相
(右から2人目)に石垣焼を紹介する
金子晴彦当主(右)＝9日夕、フランス
のグラン・パレ(金子当主提供)



石垣焼窯元「石垣市名蔵
の金子晴彦当主(54)が
9日から13日までの5日
間、パリの国立グラン・パ
レ美術館で開かれた第2回
「サロン・レヴェラッショ
ン」に石垣焼を出展した。
金子当主によると、同サ
ロンはフランスを代表する
工芸の団体「アトリエ・ダ
ルト・デ・フランス」が主
催するアート・クラフト展
覧会で、出展を許可された
17カ国のクリエーター70人
の作品が紹介された。会場
には陶芸をはじめ家具や彫
刻、絵画、オブジェなど卓
越した作品が並んだ。
金子当主はアートを中心
にアクセサリーや食器など

パリのアート展覧会で金子氏

約50点を展示。石垣焼のブ
ースにはフランスのマニユ
エル・バルス首相が立ち寄
ったほか、仏紙「ル・モン
ド」でも紹介されたとい
う。

展覧会では、フランス人
から「(フランスでは)ブル
ーは希望の色とされてい
る。世界には少しでも希望
が必要。金子さんはその希
望をアートに乗せて世界へ
広げる使命があります」と
言われたといい、金子当主
は「もっとたくさんの人を
幸せにするために希望の色
を石垣焼に乗せ、世界に届
けていけないといけない。
そういう使命感を再確認し
たイベントだった」と振り
返った。

金子当主は10月にニュー
ヨークとスペイン、12月に
ループルでも展示会を予定
している。